

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7年 1月 21日

協議会名:高知市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー確保維持計費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社さくらハイヤー	鏡地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	<p><前回の評価結果の概要> 利用者や事業者からの聞き取り等により、さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに、利用者減少の要因を精査しつつ、目標達成水準の維持を目指す。 収支率改善の取り組みを検討する。</p> <p><評価結果の反映状況> 地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取、事業者との定期的な意見交換を行った上で、引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり、生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで、利便性の向上と新たな利用者の獲得、収支率の改善を図った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	<p>B</p> <p>【目標達成率】 ○利用者数：85.4% (目標：1,450人/年) ○収支率：123.1% (目標：13%以上) ○公的資金投入額(高知市負担額)：78.1% (目標：3,476千円以上)</p> <p>【利用者数】1,238人/年 (対前年比：105.0%) (対前々年比：85.4%) 【1便あたり利用者数】1.21人 【収支率】16.0% (対前年比：105.3%) (対前々年比：124.0%) 【公的資金投入額】2,716千円</p> <p>利用者数及び公的資金投入額が目標を下回った主要因は、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。(運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。)</p>	<p>他市の事例を研究しつつ、地域町内会や事業者への聞き取りを行い、地域のニーズに合ったダイヤや接続箇所を検討していくことで利便性向上を図り、利用者数の増加を目指す。 また、主な利用目的の一つである診療所への通院を考慮したダイヤの見直しを検討する。</p>

株式会社第二さくら交通	土佐山地域デマンド型乗合タクシー（区域運行）	<p><前回の評価結果の概要> 利用者や事業者からの聞き取り等により，さらなる利便性向上とニーズ把握に努めるとともに，利用者減少の要因を精査しつつ，目標達成水準の維持を目指す。 収支率改善の取り組みを検討する。</p> <p><評価結果の反映状況> 地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取，事業者との定期的な意見交換を行った上で，引き続き路線バスの運休する日曜・祝日に一部路線を運行したり，生活の拠点となる量販店への接続を実施したりすることで，利便性の向上と新たな利用者の獲得，収支率の改善を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり，適切に実施された	B <p>【目標達成率】 ○利用者数：85.4% （目標：4,210人/年） ○収支率：155.0% （目標：6%以上） ○公的資金投入額（高知市負担額） ＝：113.8% （目標：7,313千円以上）</p> <p>【利用者数】3,595人/年 （対前年比：90.6%） （対前々年比：85.4%） 【1便あたり利用者数】 1.26人 【収支率】9.3% （対前年比：101.1%） （対前々年比：147.6%） 【公的資金投入額】8,321千円 利用者数が目標を下回った主要因は，乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことであると考えられる。（運行事業者から提出された日報等を分析した結果による。） なお，義務教育学校（土佐山学舎）の通学便も運行しているが，地域間幹線バスとの乗り継ぎを想定していないダイヤ設定のため，各目標値及び実績値からは除外している。 （※令和6年度の通学便の利用者は5,055人。）</p>	他市の事例を研究しつつ，地域町内会や事業者への聞き取りを行い，地域のニーズに合ったダイヤや接続箇所を検討していくことで利便性向上を図り，利用者数の増加を目指す。
-------------	------------------------	--	--------------------------------	--	--